

この夏に本郷キャンパスで心理学の模擬授業をしていただいた細野先生の案内のもと22日の夕方から東京大学教養学部(駒場)キャンパス内を見学し、高校生のための金曜特別講座(今月の演題は教科書の「若紫」)を受講してきました。



1・2年生7名の施設の案内には細野先生のゼミの学生と大学院生も同行してくれました。

細野先生の研究室が入っている建物も訪れました。そこは舛添洋一 前東京都知事が東大の教員時代に過ごしていたものだそうです。



その研究室で、前頭葉の働きをはかることができるシステムを体験させてもらいました。写真手前のしゃがんでいる方が細野先生です。右脳と左脳の役割分担などをHbを含んだ血流量で解析するそうです。



つぎに金曜特別講座です。源氏物語の若紫 かいま見の場面。講師は教養学部
教養学科 田村隆 准教授。



昭和 13 年発行の尋常科用小学校国語読本(巻十一)と現在の高等学校の古典の
教科書を読み比べての 75 分の講義でした。

田村先生の指示で本校の 1 年生 6 人が小学校の国語読本の一部を順番に音読し
ました。



講義終了後も質問者が列をつくりました。最後にホールの前で記念撮影。

金曜特別講座はインターネット経由などで全国の高校などに配信されているそうで
す。来月のテーマは「驚異の 8K 映像で観るルーヴル美術館 —芸術と技術の融合を
めざして—」。この講義は NHK と共同で 8K の鮮明なモニターが 2 台準備されるとのこ
と。